

科目名	舞踊実習 I～VIII (コンテンポラリーダンス)	形態	実習	開講期	春・秋
担当教員	秀 和代	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

身体表現の訓練、及び基本的なダンスステップの練習。自己開放すること、感性を育むことの重要性を習得し。個性的、独創的に目覚めるべく各自の開発を目指す。舞台人の基本的マナーを身につけ、人間力の向上を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

開放されて、自由に動ける身体と精神状態を整えておくこと。

＝授業内容＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 ストretch、柔軟運動、呼吸法。
- 3回 立つ、歩行する等、さまざまなステップの練習。
- 4回 回る、跳ぶ、走る等、さまざまなステップの練習。
- 5回 ダンスについての認識を高めるための講義。
- 6回 3、4のつづきとしてのさまざまな練習。
- 7回 6のつづきとして、複雑に組み立てられる動きの練習。
- 8回 7までを修得した段階で、表現者としての能力の開発。
- 9回 自身の内面からわきおこる感情との対話。
- 10回 内面性を高め、そこから生み出される動きの開発。
- 11回 表現体としての即興性の訓練をはじめ。
- 12回 さまざまなシチュエーションで、各自の即興ダンスにチャレンジ。
- 13回 12回法の中での自身の表現能力の知覚・認識。
- 14回 あらたに自身のダンスにおける表現能力の訓練。
- 15回 空間の中における自身の表現を感じとれる訓練。
- 16回 15回までのような段階を踏みつつ、積み上げなが、修得した能力を再確認する。

＝成績評価の方法と評価の基準＝

評価方法…出席状況と身体の技術・表現力に問題がなければA評価。欠席・遅刻が多すぎる時はB評価。授業を妨害 or 目にあまる行動をした時はC・D評価もある。

評価の基準…実習の中での積極的な授業姿勢、自身の能力をどん欲に磨こうとする努力ある姿勢そこから生まれる習得した能力を判断する。

＝テキスト（必携）＝

特になし